

青山延壽 延壽 儒者。文政三年嘗陸國水戸生れ、明治二十九年十一月十七日没（八二〇—一九〇六）。字季卿、通稱量四郎。號鐵槍居士、鐵槍陳人、鐵槍齋、香雪。水戸藩儒青山延光の弟。天保十四年弘道館訓導、弘化三年彰考館に移るも、嘉永五年再び弘道館に轉じ、安政四年助教、「大日本史」編輯に与つた。明治五年上京して東京府地誌課長に就職。のち水戸に歸住、著述に從事。長女千世ちせ（森田千世子）の子に、エスペランティスト佐々城松榮、詩人青山郊江、評論家山川菊榮がゐる。

著書に『讀史雜詠』全二冊（姪延年校、慶應二年六月玉巖書堂銀版）、
 『内字英哲年齡便覽』（内題「洋漢英哲年齡便覽」青山勇校、明治二十年八月）二十日松陽家塾藏版、吉川半七・林正次郎發賣）等。

